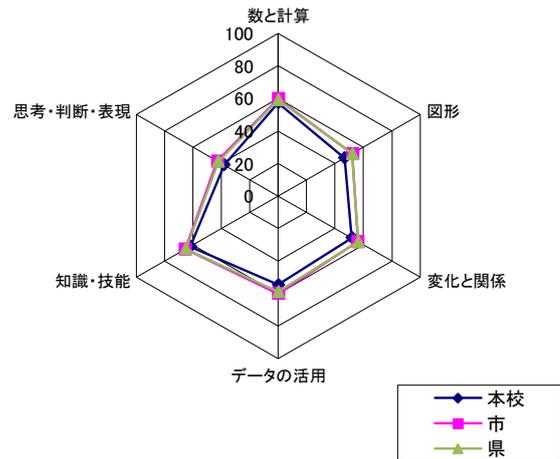


# 宇都宮市立横川中央小学校 第5学年【算数】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

○100 題に 開く	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	57.2	59.7	59.2
	図形	46.6	52.1	52.1
	変化と関係	51.7	56.1	56.3
	データの活用	54.5	60.1	58.9
観点	知識・技能	62.1	65.5	65.1
	思考・判断・表現	38.3	42.9	42.4



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>●数と計算の平均正答率は、57.2%で、県の平均を2.0ポイント下回っている。</li> <li>○1兆は、1000億の何倍かを答える大きな数の問題の正答率は86.5%で、県の平均を5.6ポイント上回っている。</li> <li>●数直線上の目もりが示す分数を読み取り、仮分数で表すことができるかどうかをみる問題の正答率は43.8%で、県の平均を9.8ポイント下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帯分数を仮分数に直したりその逆を考えたりしながら、数直線を用いて分数のしくみを理解させる。</li> <li>・授業や朝の学習、家庭学習などを活用して基礎的・基本的な計算の練習の機会を多く設定し習熟を図ること、着実な定着を図ることができるようにする。</li> </ul>
図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>●図形の平均正答率は、46.6%で、県の平均を5.5ポイント下回っている。</li> <li>●身近なものの面積と単位を理解しているかどうかをみる問題では、正答率が23.6%と、県の平均を11.0ポイント下回っている。</li> <li>●ひし形の作図の問題では、62.9%と、県の平均を11.8ポイント下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りにある正方形や長方形の面積を実際に調べる活動を通して、日常生活と関連させ、面積の意味を理解し、面積の大きさの感覚を身に付けられるようにすると同時に、それらの大きさを表すための単位についても推測させるようにする。</li> <li>・作図に必要な、「図形の性質を理解し、かき方が分かる」とこと、「誤差のないように正しくかける」とことの両方を身に付けさせるために、図形の性質を丁寧に指導し、用具の操作に慣れる機会を計画的に設定し、習熟させるようにする。</li> </ul>
変化と関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>●変化と関係の平均正答率は、51.7%で、県の平均を4.6ポイント下回っている。</li> <li>○2つの数量の関係を、もとの大きさの何倍になったかを考えて説明する問題の正答率は50.6%で、県の平均を1.3ポイント上回っている。</li> <li>●伴って変わる2つの数量の関係について分かることを説明することができるかどうかをみる問題の正答率は16.9%であり、県の平均を8.2ポイント下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図や言葉などを使って、自分の考えを丁寧に表現したり、友達の意見を取り入れて考えたりする活動を計画的に取り入れることで、根拠を明らかにして説明することができるようにする。</li> <li>・授業の中で式や図・言葉など多様な方法で表現したり、根拠を明らかにして相手に分かりやすく説明したりする活動を取り入れていくことで、各単元の理解がさらに深まるようにしていく。</li> </ul>
データの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●データの活用の平均正答率は、54.5%で、県の平均を4.4ポイント下回っている。</li> <li>○二次元表の読み方を理解しながら、条件にあてはまる数を答える問題では、正答率が23.6%と低いながらも、県の平均を1.3ポイント上回っている。</li> <li>●2つの折れ線グラフから、必要なことを読み取ることができるかどうかをみる問題では、正答率が68.6%であり、県の平均を8.28ポイント下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの情報の中から、必要な情報だけを取捨選択したり、資料を正しく読み取る力を身に付けるために、理由や根拠を明らかにして説明したりする活動を計画的かつ積極的に取り入れていく。</li> </ul>